

ぜひお読みください。

神戸こども初期急病センター
トピックス Vol.6
平成22年7月15日
神戸市保健福祉局

医療関係者の皆様へ

神戸こども初期急病センタートピックスVol.6



持続可能な小児救急医療体制確立するため、初期救急、二次救急、三次救急の医療機関がそれぞれの機能を十分に発揮し、お互いに連携するために、神戸市では市内医療関係者のご協力を得て、神戸こども初期急病センターの整備を進めていきます。

神戸こども初期急病センタートピックスは、この急病センターの進捗状況などを、関係者の皆様へ随時お知らせしていきます。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

天気予報では、梅雨明けも近く、もう少しで夏空が広がる季節がやってきそうです。神戸こども初期急病センターの建設は、今のところ順調に進んでおり、12月の開設に向け、様々な作業が着々と進んでおります。今回は、5月に就任された神戸こども初期急病センター西看護ゼネラルマネージャのご挨拶と、センターのシンボルキャラクターの決定についてお知らせいたします。

1. 神戸こども初期急病センター 西 久代 看護ゼネラルマネージャ より（ご挨拶）

神戸こども初期急病センター看護ゼネラルマネージャ 西 久代
神戸市の保健医療政策の一環として、小児医療の充実を目的に神戸こども初期急病センター（以下センター）が設立されました。私は、5月1日より看護グループのゼネラルマネージャとして、小児救急医療事業団に着任しました。

看護グループは、現在、小児救急認定看護師を含め3名のスタッフが、施設や設備のハード面、ソフト面についてセンター長はじめ事務局と協働で開設準備に取り組んでいます。

センターは、小児の初期救急を365日、夜間および休日に医療サービスを提供するため、体制整備や看護マニュアルの作成等を行っています。診療には、看護師によるトリアージシステムを取り入れ、患者さんの病態の緊急性を判断し、治療の優先度を決定します。トリアージ能力を高めるための教育・研修も計画しております。さらに、地域住民の子育て支援のための電話相談や臨床現場から発信する保護者対象の子育て研修を企画し「こどもの健やかな育成」を目指します。

この現場を支えるスタッフに対して、ライフワークバランスを考慮した多用なシフトを取り入れ、働く人の価値観やニーズを大切にした勤務体制を考えています。充実した生活や効率的な仕事を実施し、患者さんに安全で質の高い医療・看護の提供を目指しています。12月の開設がスムーズに導入できますように皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

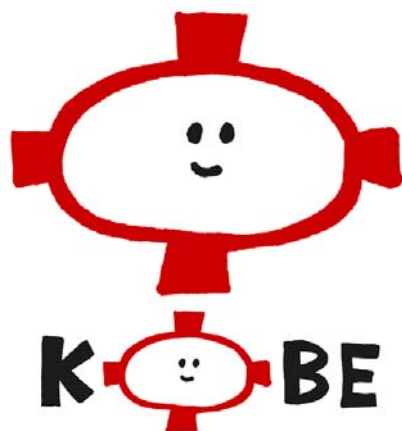
裏へつづく

2. 神戸こども初期急病センターキャラクターデザインが決定しました

神戸こども初期急病センターシンボルキャラクターとその愛称募集を行い、全国より417点もの応募をいただきましたが、次の2作品が最優秀賞に決定しました。今後、神戸こども初期急病センターの外壁、内装等への使用、各種広報印刷物など神戸こども初期急病センターや小児救急など様々な普及啓発に活用いたします。

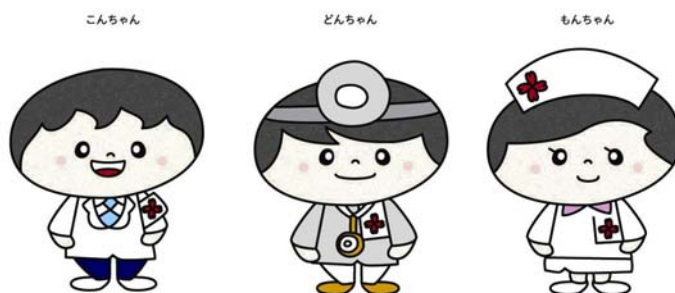
「ベコちゃん」

長崎県諫早市 植松 満広さん



「こんちゃん」「どんちゃん」「もんちゃん」

兵庫県神戸市 志智 隆行さん



3. 神戸こども初期急病センター建設工事進捗状況

2階スラブ型枠施行状況

(平成22年7月6日撮影)

